

【保護者様からのご意見を受けての改善策】

3事業所とも「満足度」「情報発信」「個人情報の管理」についてはおおむね高い評価をいただくことができました。一方で、他施設との交流はほとんど実績がなく「どちらともいえない」「いいえ」の回答が多く寄せられました。他機関との交流は、個人情報保護の観点から当事業所では推奨していませんでしたが、障がいのない子との活動機会を設けることはインクルーシブ社会（共生社会）の実現のため、必要なことであると考えます。今後は、安全面及びプライバシーを十分確保した上で、少しずつ交流の機会を増やしていきたいと考えています。

個別にいただいたご意見については、下記の通り改善を図りたいと考えております。

●事務所に子どもたちが簡単に出入りできるのは良くない。（高坂教室）

- 高坂教室で最も広い部屋を「指導室」として使用しておりますが、お子さまの利用がない午前中は、職員のミーティングルームとして使用しております。
事務室及び本部業務は、お子さまが入室できない専用部屋を設け、個別支援計画ファイル等の個人情報に関わる資料を厳正に管理しています。

●個別療育と放課後等デイサービスが同じスペースなのは残念。（高坂教室）

- 平日は、個別療育と放課後等デイサービスで同じ施設を利用することはほとんどありませんが、土曜日はどうしても利用時間が重なってしまうことがあります。その際は、個別療育の指導個室をきちんと確保し、適切な配慮をしながら進めております。今春には新たに2つの事業所を増設し、環境整備に努めてまいります。

●計画についての話し合いの時間がとれていない。（高坂教室）

- 定期的に保護者様の情報交換会を開催したり、個別の聞き取りも心掛けてはおりますが、より密に連携を図り、計画に保護者様のニーズを反映いたします。

●どんな活動を行ったか、長期休み中だけでなく日々の伝達をお願いしたい。（高坂教室）

- 長期休み中や土曜日はイベント活動も多いため、事前に内容をお伝えしたり、持ち物のご連絡をさせていただいております。放課後等デイサービスの日々の活動については、お迎えの際などに「その日取り組んだこと」「出来るようになったこと」「その日気になった行動」などきちんとお伝えできるように、スタッフ間で徹底いたします。

●子どもの状況について、送迎時だけでなく、連絡帳や個別配信など工夫がほしい。

(高坂教室)

- 保護者様からご要望があったお子さまについては、メグシィ専用連絡帳のやり取りをしております。そのほか、気になるお子さまについては迅速に個別連絡を取らせていただいております。

●年に1～2回、個別に面談できると良い。(高坂教室)

- 当事業所では「家族支援」に重点を置いた支援を心掛けています。気になるお子さまについてはこちらからご連絡をし、面談させていただいております。保護者様からもご希望があればいつでも何回でも承りますので、お気軽にご相談ください。

●利用の際、子どもの状況があまり伝わってきません。(高坂教室)

- 個別療育については保護者様立ち合いのもと進めておりますが、放課後等デイサービスについては送迎時や連絡帳を中心とした伝達になっています。お子さまたちが普段、生き生きと活動する様子は不定期の広報紙「メグシィ通信」やホームページ内の「フォトギャラリー」、情報交換会にてお伝えしてまいりたいと考えております。

●その日におやつを食べたかなど知らせてほしい。(新形町教室)

- 保護者様が直接お迎えに来ていただけるケースでは、その日の申し送りとしてお伝えしておりましたが、振り返ってみると「食べなかった場合」のみの伝達になっていたかもしれません。これを機にきちんと検証し直し、改善を図りたいと思います。また、アレルギー等には十分配慮しておりますので、引き続きおやつ及び食事提供の際には気を付けてまいりたいと思います。

●運動するにはもう少し広い方がいいと思う。(桜新町教室)

- 限られたスペースでの感覚統合訓練や室内運動ですので、安全面には十分配慮しておりますが、長期休みを中心に小真木原体育館を借り切ったの体育指導や屋外で思いっきり身体を動かせるイベントの提供など、お子さまが日々のストレスを開放できる機会も数多く創出してまいりたいと考えております。

●他の保護者の悩みや体験談も発信してほしい。(桜新町教室)

- 先に発行させていただいた広報紙「メグシィ通信」にて、顧問医師・石川充先生による療育指導の Q&A を公開させていただきました。ホームページからも閲覧できますので、ぜひご覧になってみてください。
また、お悩みや成功事例などを共有できる保護者情報交換会も開催しておりますので、ご参加いただければ幸いです。